

「日銀の偉業・マイナス金利を考える」

金利がマイナスになる。お金を預けていると減っていく。これは私達のお金に対する感覚を根底から覆す出来事です。産業革命や大航海時代を生み出した資本主義が、歴史的な新たな時代に入っている。こうしているのだと思いませんか。マイナス金利がどのような世界を作ったのか、まだ正確に解っている人は少ないと思います。この新しい世界について考えてみましょう。

1月29日の金融政策決定会合において、日銀は初めてのマイナス金利の導入を決定しました。これは銀行が日銀の当座預金勘定にお力ネを預けておく、法定準備金の超過分の一定割合についてはマイナス0.1%の金利を適用するということです。ですからこれは日銀と銀行の取引の問題であって、銀行と取引している個人や会社とは直接関係はありません。私達が銀行に預けているお金が減り始める訳ではありません。

しかし銀行も法定準備金を超える日銀に置いてあるお金が減っていくとなると、減らさない対策を取らなければならなくなります。それが貸し出しや投資に向かえばいいのですが、いきなり良いお金の使い道が見つかる訳ありません。日銀に置いておけないとなると、何処に置いておくのがいいか？とありあえず一番リスクの少ない国債を買うことで皆逃げを打ち始めています。しかし既に国債の短期物はマイナス金利に陥っていきま

ると、少しリスクが高くても減らない債券を目指し始めます。それだけでは対策は十分なので、大企業等の大口預金に対してもマイナス金利の適用を始める銀行も出てくるでしょう。先行するヨーロッパでは個人預金に対してもマイナス金利を適用する銀行もあるようです。

これまではお金を銀行に預ければ、銀行は預かったお金を自由に使う代償として、使用料としての金利を払ってききました。しかし使道の無いお金を沢山預かることになると、使用料を払うよりもお金の預かり管理料を貰おうということになってきているのです。マイナス金利が個人預金まで及んでいるヨーロッパの国では、金庫が沢山売れているそうです。銀行に預かり管理料を払うくらいなら、自宅の金庫で自分で管理したほうがいいという人達が増えていくのです。いわゆるタンス預金が増えていくのです。個人預金ならそういう方法もありますが、銀行や大企業を抱えるお金は膨大な量ですから、とても金庫で自己管理出来る量ではありません。しかもいちいち決済のためにトラックで銀行の窓口にお金を運ばなければならぬなんてナンセンスです。違う資産に替えて運用しなければならぬ

なり。外国の通貨での運用も含めて日本円が必要が落ちてきますから、円安の方に振れてくると思います。今世界中で不確実性が高まっていて、安全と思われる日本円に世界の資

金が集まっており、どんなに量的緩和をしても円高が進行してしまいました。世界の資金は増やす事よりもいかに減らさないか、いかに予測不能リスクを回避するかという動き方になっていきます。しかしアベノミクスは円安が日本経済には良い影響が高い事を証明しました。円高の流れをひっくり返さなければなりません。そこで、資金が円買いにマイナス金利に踏み込んだのだと思います。日銀はマイナス金利幅をどこまでも拡大させるかもしれない、という不確実性を纏うことで、世界の不安な状況に対抗することになったのだと思います。

これによって、今はマイナス金利ショックで混乱している金融市場もだんだんと落ち着きを取り戻して、日銀の狙う動きになってくるだろうと思います。円安・株高が進んでいくことになっていでしょう。そして国内インフレが進行していきま。インフレの世界では実はお金の価値は下がっていきます。インフレターゲットは2%ですから、これは100万円の預金を金利0%で預けていると、毎年約2万円づつ減っていくようなものです。これは大変な事ですね。

お金の減らないように、預ける方法で運用していかないこと、指をくわえて減り続けるのを眺めることになるのです。個人預金がマイナス金利時代には、個人預金も金利0%になる可能性があります。これはタンス預金でもお金の減るのを防ぐことが出来ません。インフレの世界では、お金の氷のように少しずつ溶けて

いくのです。また預金以外の運用も預金よりリスクがあります。増えませんが、万が一の失敗があると大きく目減りしてしまします。

マイナス金利インフレ時代はお金に安住の地はありません。リスクと利益を天秤に掛けない適切な管理しなければならぬ時代です。専門知識の無い一般人にとってはどう対処していいのかわからないと思います。しかし、これからそういう個人向けの金融サービス商品がどんどん提供されることになりま。そんな増えなくていいからとても安全な運用を望む人も多いでしょう。そういうニーズに応えられる商品もたくさん出てくるでしょう。また銀行自身がそういう金融商品を提供するはず。ただ銀行に預ける時代から、自分のニーズに合った運用を選ぶ時代に変っていくでしょう。実はその変化の中で、お金は死蔵されているところから活用される方向に動き出して、経済全体を拡大させていくことになると思います。

私の予想では、日銀はもっとマイナス金利幅を徐々に拡大して、お金をいかにたくさん持たせていくかではなく、お金をいかに活用出来るかが問われる時代になるはず。マイナス金利は日本の社会構造を根底から変え、社会を活性化し、能力ある人達の活躍を促す後押しする世の中を作っていくことになるかも知れません。

Facebook でも活動報告を行っています。〈Facebook アドレス〉 <https://www.facebook.com/anamiyoichi>

皆様のご意見をお聞かせください! お待ちしています。

あ な み よ う い ち

衆議院議員 穴見陽一 後援会 事務所

〒870-1133 大分市大字宮崎867-18 TEL.097-567-1319 FAX.097-567-2010

<http://www.anamin.net> E-mail:info@anamin.net

